

2025年3月期 個人投資家向け説明会

2025年2月17日

人・街・未来をまもる



東洋テック株式会社

証券コード：9686



池田 博之（いけだ ひろゆき）

1960年10月9日生まれ（64歳）

1983年3月 横浜国立大学経営学部卒業

1983年4月 大和銀行(現りそな銀行) 入行

2018年3月 りそな銀行 副会長

2018年5月 (一社)関西経済同友会 代表幹事

2020年6月 東洋テック株式会社

代表取締役社長（現職）

2024年5月 一般社団法人大阪府警備業協会
会長（現職）

2024年6月 一般社団法人全国警備業協会
副会長（現職）

1	会社概要・事業概要	3
2	東洋テックの特徴・強み	12
3	決算状況・今年度の業績見込み	18
4	中期経営計画の進捗状況	21
5	対処すべき課題と今後の取組み	25

1. 会社概要・事業概要



警備とビル管理の会社

- ・ 関西初の警備会社
- ・ 関西唯一の上場警備会社
- ・ 銀行が作った警備会社



創業



1966年

従業員数



1953名

売上高



312億

資本金



46億18百万

平均年齢



44歳

営業利益



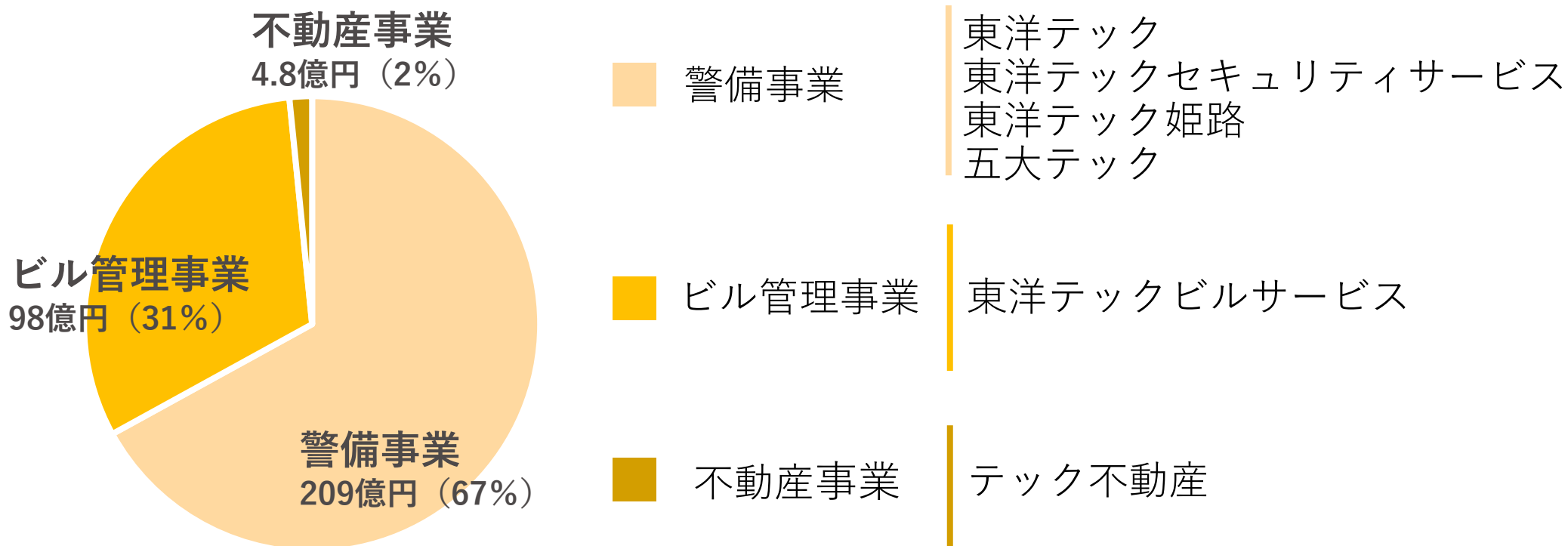
9.6億

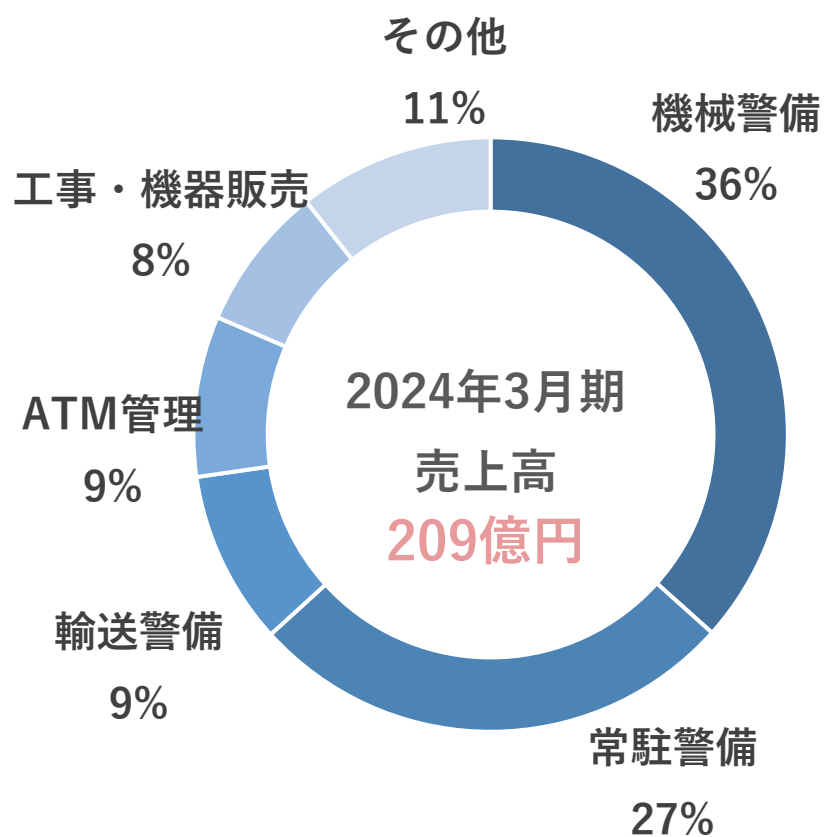
(2024年3月時点)

本社所在地	大阪市浪速区桜川一丁目7番18号
設立	1966年1月5日
資本金	46億18百万円
事業内容	警備事業…………… 機械警備業務、輸送警備業務、常駐警備業務、 ATM管理業務、工事・機器販売、ホームセキュリティ ビル管理事業… ビル総合管理、清掃業務 不動産事業…………… 不動産賃貸業務、不動産仲介業務、不動産販売業務
株式 売上高	東京証券取引所スタンダード市場上場 コード番号 (9686) 312億円 (2024年3月連結実績)
従業員数	1,953名 (連結) 他、臨時従業員数1,907名 (2024年3月時点)
グループ会社	東洋テックセキュリティサービス(株)、東洋テック姫路(株)、 東洋テックビルサービス(株)、テック不動産(株)、五大テック(株)、 アムス・セキュリティサービス(株)、関西ユナイトプロテクション(株)

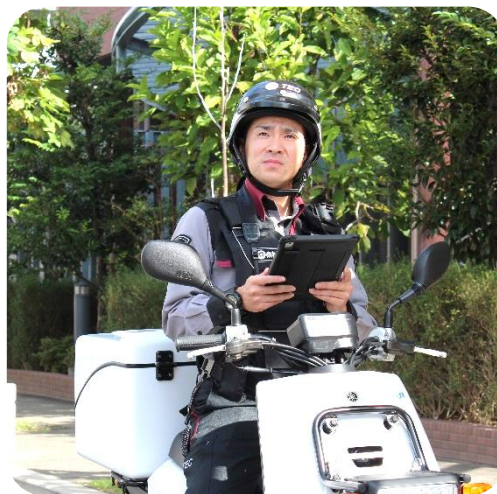
1966年 1月	東洋警備保障(株) (現 東洋テック(株)) を設立 福徳相互銀行を設立母体とし、創業に賛同出資した企業の多くも金融系
1967年 2月	機械警備業務を開始
1968年 2月	輸送警備業務を開始
1980年 5月	金融機関のキャッシュサービスコーナーの自動運行管理業務を開始
1982年 9月	CD総合管理を行うATM管理業務を開始
1988年 4月	東洋警備保障(株)から東洋テック(株)に社名を変更
1990年 12月	大阪証券取引所市場二部に上場
2001年 9月	関西電力(株)、日本パナユーズ(株)とホームセキュリティ共同会社 「(株)関電セキュリティ・オブ・ソサイエティ」 (関電SOS) 設立
2002年 6月	関電SOSのホームセキュリティサービスを開始
2013年 7月	東京証券取引所市場第二部に移行
2022年 4月	東京証券取引所スタンダード市場に移行 グループ会社 東洋テックビルサービス(株)設立
2022年 5月	五大テック株式会社 (本店：大阪市) を当社の関係会社とする
2023年 4月	清掃会社2社を東洋テックビルサービス及び東洋テック姫路に統合
2024年 5月	アムス・セキュリティサービス(株) (大阪)、アムス・セキュリティサービス(株) (福知山)、 アムス・シークレットサービス(株)を当社の関係会社とする
2024年 6月	関西ユナイトプロテクション(株)を当社の関係会社とする
2024年 10月	アムス・セキュリティサービス(株) (大阪)、アムス・シークレットサービス(株)を 東洋テック(株)に合併

< 2024年3月期売上高 312億円 >

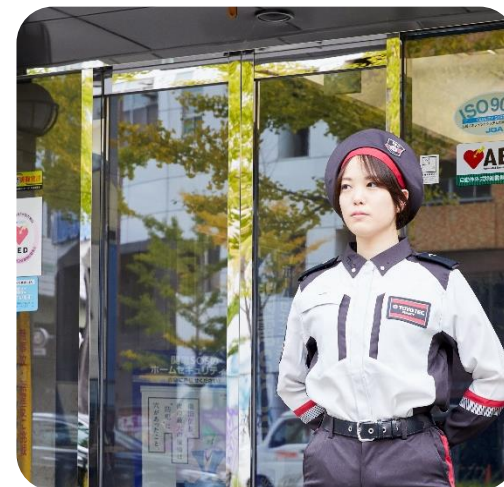




機械警備



常駐警備



輸送警備



ATM管理



建物に関するあらゆる業務をフルサポート！

- ✓大規模修繕
- ✓消防設備点検
- ✓エレベーター設備点検
- ✓給水設備点検
- ✓建物の日常清掃、定期清掃 等

日常清掃・定期清掃



設備管理・点検・改修



■ 賃貸業務

収益不動産投資 計7件

オフィス 1件



住宅 3件



ホテル 1件



商業施設 2件



■ 仲介業務

売主



仲介手数料



仲介手数料

買主

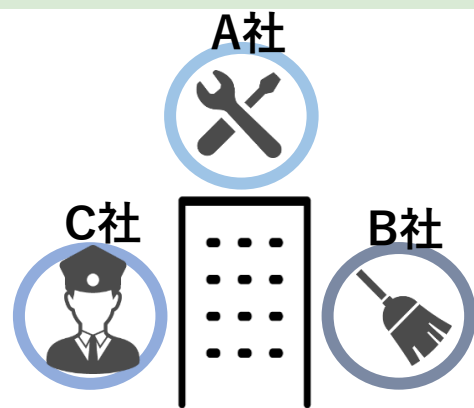


- 不動産情報を早期取得。
- 他社に先駆けビル管理を一括して受託する為のアプローチを行う。

2. 東洋テックの特徴・強み

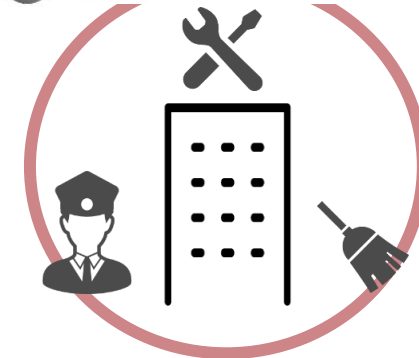
- 警備からビル管理(設備管理・修繕・点検・清掃ほか)まで一括して任せられる “総合ビル管理会社”

ビル1棟を東洋テックグループで一括管理



- ・業務効率化
- ・コスト削減

東洋テックグループ



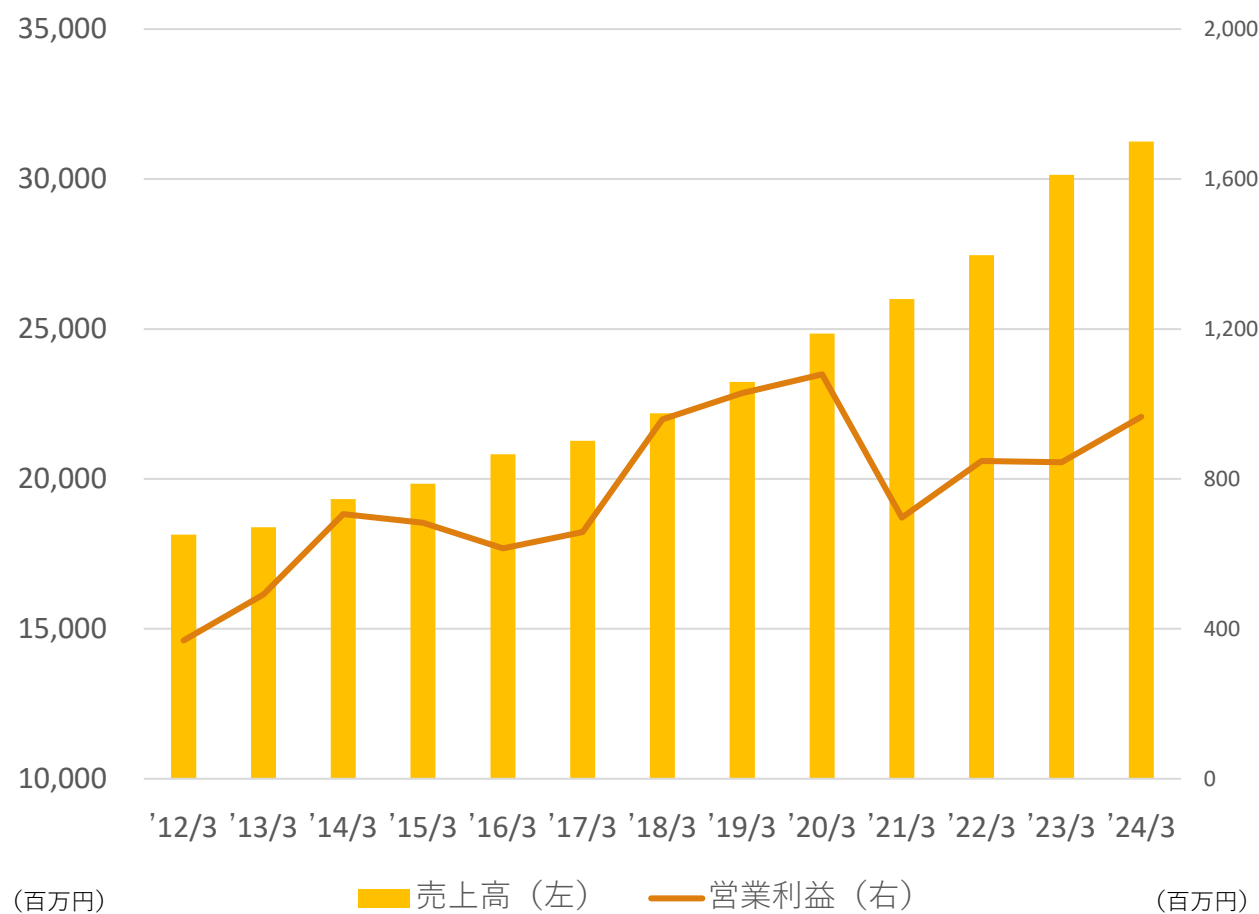
	ビル管理会社 A社	清掃会社 B社	警備会社 C社
警備	×	×	○
設備管理他	○	×	×
清掃	○	○	×

当社グループ

- 東洋テック、東警サービス
東洋テック姫路、五大テック
アムス・セキュリティサービス
関西ユナイトプロテクション
- 東洋テックビルサービス
- 東洋テックビルサービス

- 創業以来、営業利益・経常利益は黒字を確保。
- 警備事業や清掃業務はストックビジネスであり、安定した業績。

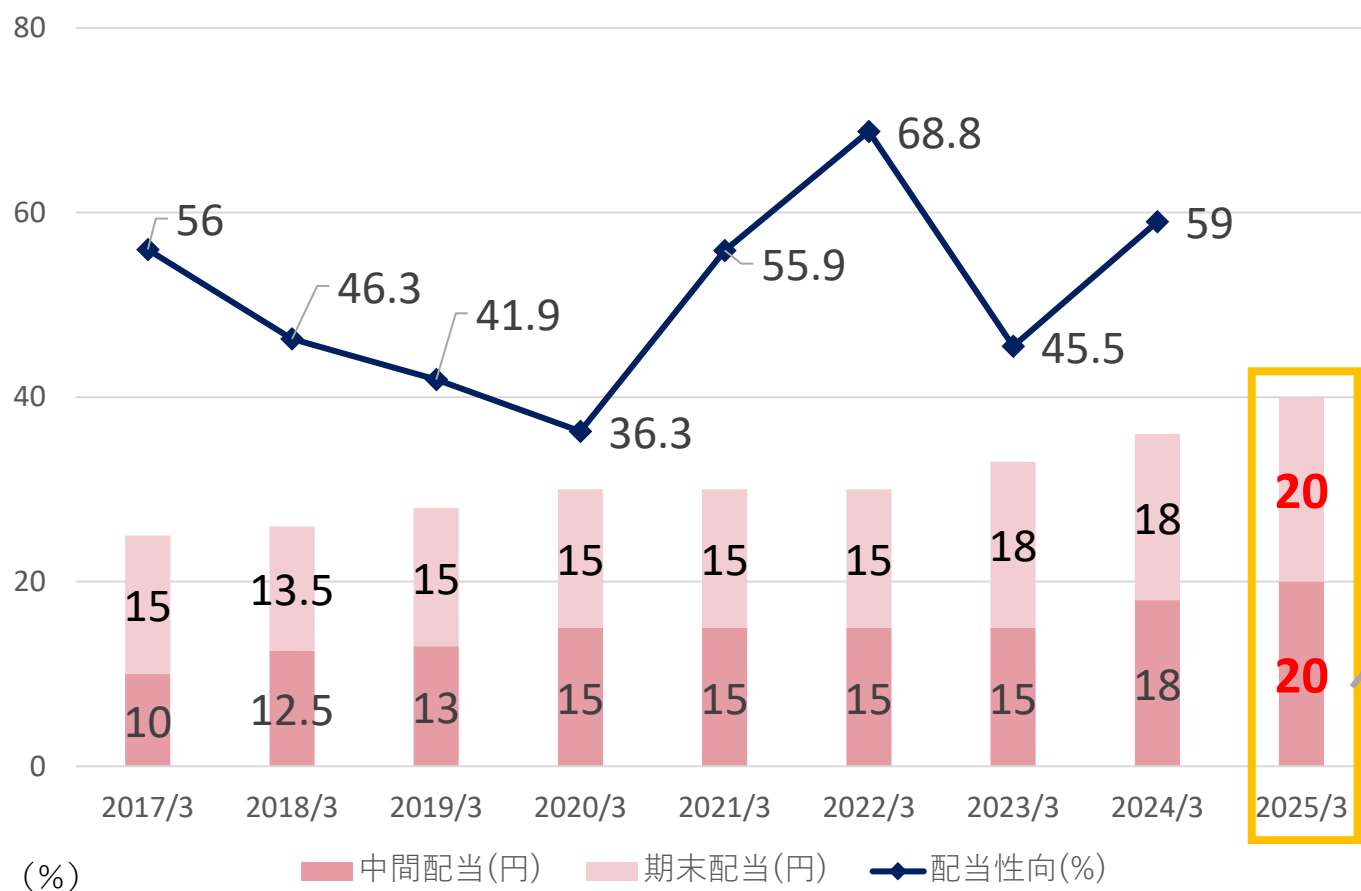
売上高・営業利益推移



**創業以来
黒字**

**13期
連続増収**

- 配当方針：配当性向50%を目途に安定配当。
業績に連動した配当を目指します。



株主資本配当率(DOE)の要素も意識した配当政策を検討。今年度は
年間40円配当を目指す。

対象となる株主様

毎年3月末日現在の株主名簿に記載または記録された **500株以上**の当社株式を保有されている株主様。

株主優待の内容

保有株式数に応じて優待ポイントを進呈いたします。
株主様限定の特設ウェブサイトに掲載されている商品からお好みの商品をお選びいただけます。



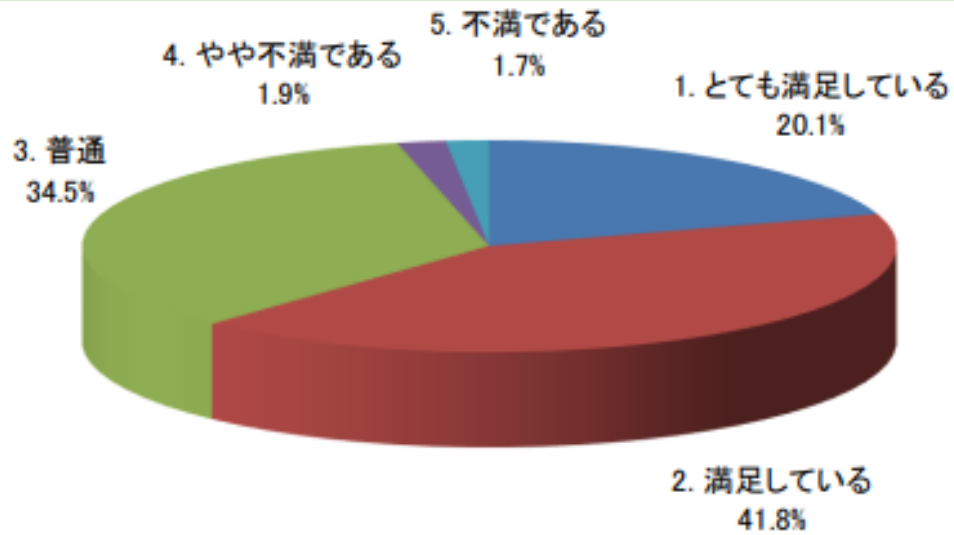
保有株式数	進呈ポイント数	進呈時期
500株 ~ 599株	5,000 P	5月下旬
600株 ~ 699株	7,000 P	
700株 ~ 799株	9,000 P	
800株 ~ 899株	11,000 P	
900株 ~ 999株	13,000 P	
1,000株 ~ 1,499株	15,000 P	
1,500株 ~ 1,999株	25,000 P	
2,000株 ~ 2,499株	35,000 P	
2,500株 以上	50,000 P	

制度の開始時期

2024年3月末日現在の株主名簿に記載または記録された株主様を対象として開始いたします。

株主様 アンケート

Q.当社の株主優待に満足していますか



当社株主優待満足度は
62%が満足と回答あり

カテゴリ別 商品交換数

	カテゴリ名	件数	構成比
1	グルメ	1,056	66.1%
2	生活雑貨	126	7.9%
3	スイーツ	123	7.7%
4	ドリンク	86	5.4%
5	電化製品	65	4.1%
6	酒	39	2.4%
7	WILLsCoin	28	1.8%
8	ゴルフ	16	1.0%
9	ビューティ・ヘルス	16	1.0%
10	ファッション	15	0.9%
11	その他	28	1.9%



3. 決算状況・今年度の業績見込み

決算状況・今年度の業績見込み

(単位：百万円・%)	2022/3 実績	2023/3 実績	2024/3 実績	2025/3 計画	2025/3 3Q累計	2025/3 3Q進捗率
売上高	27,465	30,139	31,249	34,500	24,954	72.3%
営業利益	848	844	966	1,350	573	42.5%
経常利益	895	964	1,063	1,400	608	43.5%
親会社に帰属する 当期純利益	459	741	626	840	431	51.4%

セグメント別売上高及びセグメント利益の概要

- 警備事業 売上は、値上げ・M&A効果もあり警備事業全般が堅調に推移。セグメント利益については、M&A関連費用負担があり、また、既存事業領域での人件費増加等もあり前年同期比減益。
- ビル管理事業 売上は、不採算先の契約解除により減収となるが、管理業務の新規受注や外注の内製化への取組み等により収益性が改善傾向にあり、130百万円と前年同期を35百万円上回る。
- 不動産事業 仲介販売部門で期ずれしていた大口案件2件のうち1件が完了したこと、賃貸部門は前期新規に取得した物件の収益がフルに寄与したことで前年同期比増収増益。

(単位：百万円)	2024/3 3Q実績			2025/3 3Q実績			前年同期比		
	売上	構成比 (%)	セグメント利益	売上	構成比 (%)	セグメント利益	売上	増減率 (%)	セグメント利益
警備事業	15,447	66.7	514	17,250	69.1	247	1,802	11.7	△267
ビル管理事業	7,367	31.8	94	7,055	28.3	130	△312	△4.2	35
不動産事業	350	1.5	39	649	2.6	206	299	85.3	166
調整額	—	—	10	—	—	△11	—	—	△21
合計	23,165	100	659	24,954	100	573	1,789	7.7	△86

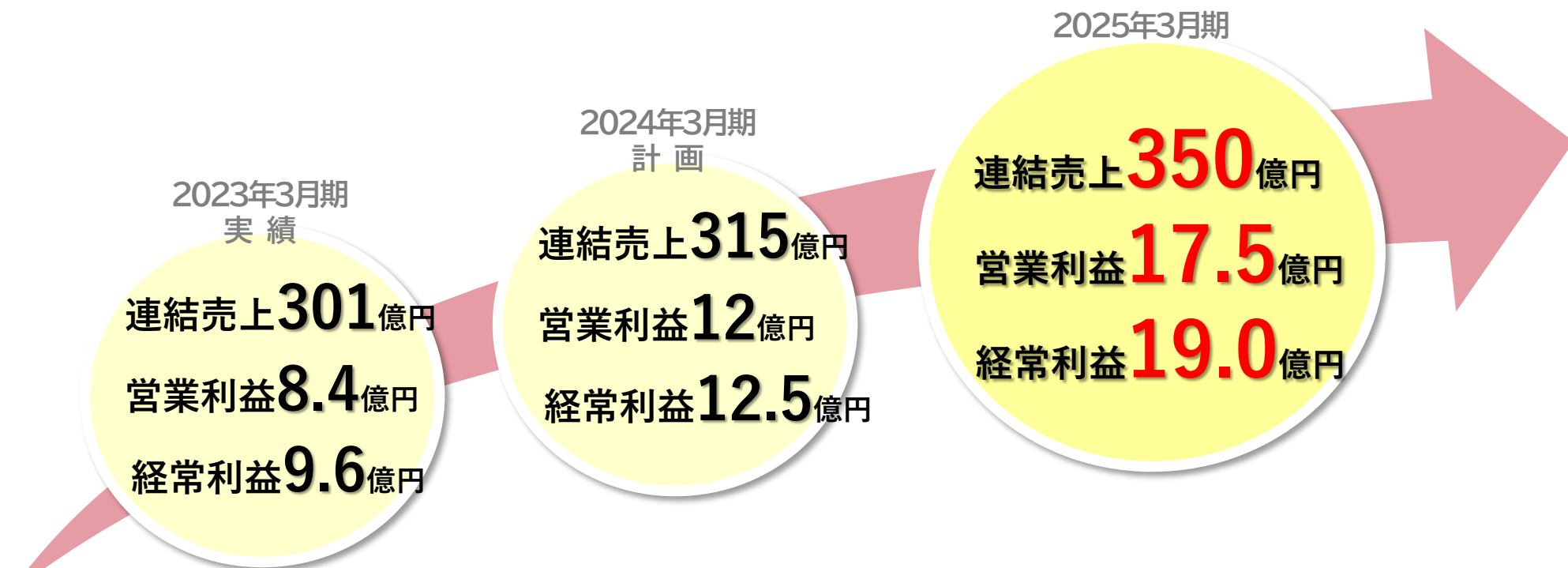
(注)セグメント利益の調整額は、セグメント間の取引消去によるものです。

経営指標の推移

		2020年3月	2021年3月	2022年3月	2023年3月	2024年3月
総資産額	百万円	30,868	29,881	32,133	31,586	35,772
純資産額	百万円	20,811	20,845	21,749	20,623	21,312
自己資本比率	%	67.4	69.8	67.7	65.3	59.6
EPS (1株当たり利益)		66円83銭	82円57銭	53円67銭	72円60銭	60円98銭
PER (株価収益率)	倍	17.18	11.4	18.97	13.15	20.91
1株当たり配当金 (年間表示)		28円00銭	30円00銭	30円00銭	33円00銭	36円00銭
PBR (株価純資産倍率)	倍	0.58	0.47	0.49	0.47	0.62
BPS (1株当たり純資産)		1,984円83銭	2,003円78銭	2,075円38銭	2,018円27銭	2,071円95銭
ROE (株主資本利益率)	%	3.39	4.13	2.58	3.60	3.00
ROA (総資産純利益率)	%	2.29	2.88	1.75	2.35	1.75
配当利回り	%	2.44	3.19	2.95	3.46	2.82
配当性向	%	41.9	36.3	55.9	45.5	59.0
DOE (株主資本配当率)	%	1.42	1.50	1.44	1.64	1.77

4. 中期経営計画の進捗状況

目指す姿	社会的要請に応え、成長・発展し続ける企業グループ
スローガン	構造改革への挑戦



成長戦略

- サービスラインナップの拡充による顧客基盤の拡大
 - デジタルトランスフォーメーションへの取組み
- 総合ビル管理元請け受託力の増強
 - 業務革新による収益向上
- 不動産ビジネス領域拡大
 - 賃貸不動産取得による収益拡大

■ 中期経営計画最終年度(2025年3月期)業績見込み

売上高:345億円(計画比▲5億円)・営業利益:13.5億円(計画比▲4億円)・経常利益:14.0億円(計画比▲5億円)

第12次中期経営計画 (2022年4月～2025年3月)

(目指す姿) 社会的要請に応え、成長・発展し続ける企業グループ

(スローガン) 構造改革への挑戦

環境変化をふまえた事業構造改革への挑戦/サステナビリティ経営の徹底

■警備事業内ポートフォリオの革新 ■ビル管理事業ウエイトの拡大 → 収益構造の改革

経済的価値 (財務・配当[最終年度 (2025年3月期)])

第12次中期経営計画

財務・配当[最終年度(2025年3月期)]

連結売上	350 億円
営業利益	17.5 億円 (営業利益率5.0%)
経常利益	19.0 億円 (経常利益率5.5%)
戦略投資	期間累計70 億円 (M&A・不動産)
配当方針	配当性向50%を目途に安定配当

見込み

財務・配当[最終年度(2025年3月期)]

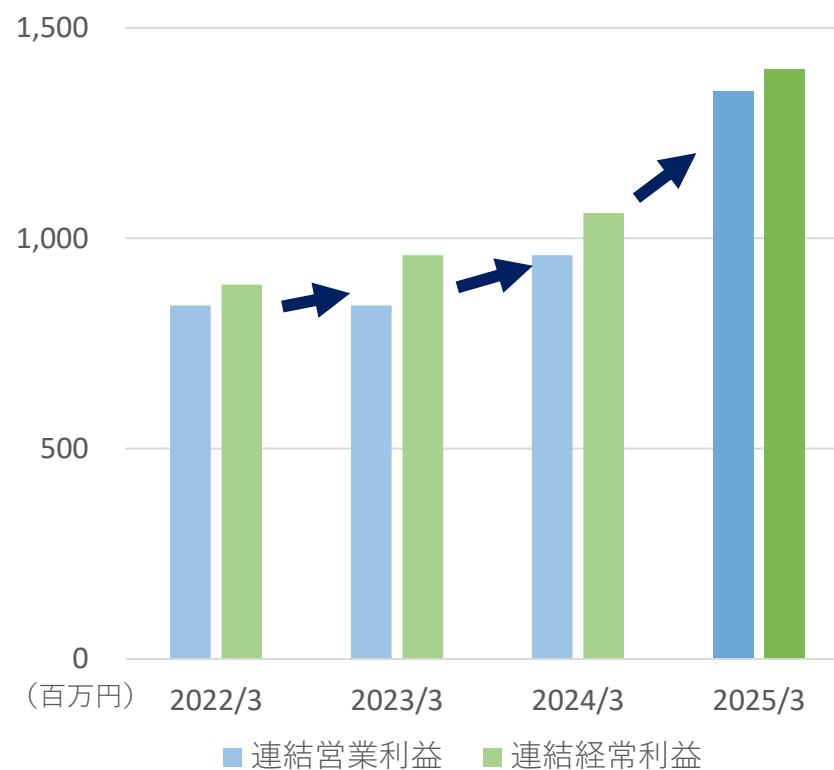
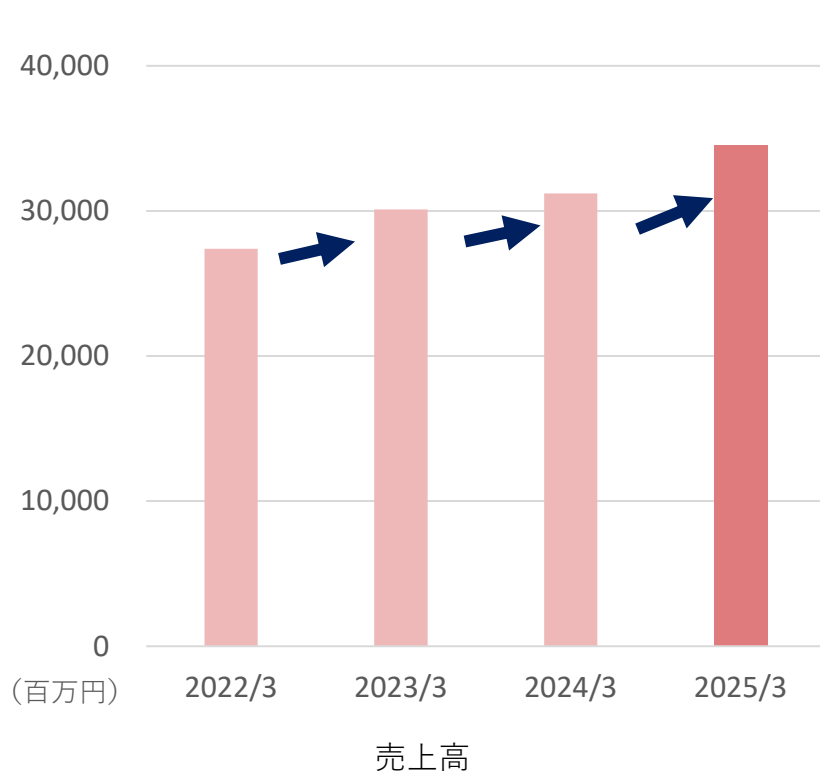
連結売上	345 億円
営業利益	13.5 億円 (営業利益率3.9%)
経常利益	14.0 億円 (経常利益率4.1%)
戦略投資	期間累計70 億円 (M&A・不動産)
配当方針	配当性向50%を目途に安定配当

成長戦略

社会的価値 (サステナビリティ経営の徹底)

- サステナビリティ活動の基本方針・マテリアリティに基づく取り組みを推進
- SDGs取組を進化させ脱炭素経営に取り組み (2030年度温室効果ガス排出量 2013年度比 ▲50%)

- 2025年3月期の業績見込みは、当初計画には未達となるが、増収増益基調は維持できる見通し。
- 警備会社のM&A実施や大阪・関西万博の警備の受注が決定する等、2026年3月期以降も増収増益基調は維持できる見込み。



5. 対応すべき課題と 今後の取組み

改善に向けた方針

- 1) ROE を重要指標として認識し、
①成長戦略の実行／②株主還元・資本政策の推進／③IR 活動の拡充により、
エクイティ・スプレッドを改善するとともに PBR の向上をはかる
- 2) 目指すべき ROE 水準 ⇒ 2027 年度末 **8%**水準

成長戦略の 実行	既存事業の収益改善	サービス品質の向上等により、適正な価格転嫁への取組み強化をはかる。
	積極的なM&A投資	現中計にも掲げているとおり、引続き戦略投資枠を設定し事業領域の拡大・新規事業への進出を推進する。
	資産ポートフォリオの見直しによる資本効率向上	保有有価証券の圧縮にあわせ、本業(警備・ビル管理)とのシナジーが見込める不動産投資を拡充し、資本効率の引上げをはかる。
株主還元・ 資本政策の 推進	配当政策の見直し	業績連動(配当性向)に加え、株主資本配当率(DOE)要素も意識した配当政策を検討する。
	株主優待制度の導入	株主に対する日頃の支援の感謝とともに当社株式への投資魅力の向上をはかる。
	流通株式増加への取組み	法人株主との交渉による流通株式拡大をはかる。
IR活動の 拡充	個人投資家説明会開催	年2回の実施を継続し、投資者との対話の機会を設ける。
	経営情報開示の強化	サステナビリティ活動等、非財務情報の開示の充実をはかる。



アムス・セキュリティサービス株式会社

2024年5月1日 株式取得（子会社化）
2024年10月1日 大阪所在の2社を合併



関西ユナイトプロテクション株式会社

2024年6月3日 株式取得（子会社化）



M & A の効果・副次効果

副次効果

① 収益力の増強

- ・ 収益率の高い機械警備の増強により収益力が向上



② 警備事業のラインナップ拡充

- ・ 従来手薄であったイベント警備・身辺警備の取込みにより警備業務サービスラインナップが拡大し、お客様ニーズへの対応力が向上



① 万博警備対応力の向上

- ・ 大阪のアムスグループの合併により人員効率化効果を創出することで万博警備要員を確保
- ・ イベント警備経験を蓄積した人員の確保
- ・ 大型イベント警備のノウハウの吸収・展開

② さらなる収益力の向上

- ・ 合併により、対象機械警備の対応を既存人員でカバーする効率的運用によるコスト削減の実現

サービスラインナップの拡充による顧客基盤の拡大

TEC-SMART

お手頃価格で安心をもっと身近に、
本格的なセキュリティパッケージ。

対象例：飲食店等の店舗、診療所
保育園、小規模事業所 等



point

- ・低価格
- ・スマートフォンで警備操作
- ・セキュリティカードが不要

Mimamori-O -ミマモリ・オ-

単身の高齢者やお子様の生活を見守り、
ご家族に安心をお届け。



point

- ・低価格
- ・シンプル
- ・気軽に導入

冷蔵庫やトイレ、玄関の扉にセンサ
ーを取り付け、開閉・振動を検知



一定時間動作しない
場合、メール通知

デジタルトランスフォーメーションへの取り組み

AI・画像解析サービス

技術革新によるクオリティ向上

機械警備：AI侵入者検知



施設警備：AI行動解析



画像監視サービス 屋外侵入監視・画像巡回



■ 当社を幹事会社とする共同企業体での警備業務の受注が決定。

- 発注元 ◆ 公社) 2025年日本国際博覧会協会
- 受注金額 ◆ 共同企業体全体で、10,819百万円
※受注金額に対する共同企業体の中での売上計上方法は調整中
- 契約期間 ◆ 2024年1月～2025年10月
- 受注業務 ◆
 - ①ゲート警備実施業務 5,950百万円
 - ②会場警備実施業務 4,869百万円

2024年2月「2025大阪・関西万博推進部」を新設し、組織体制強化。

開催概要	開催時期	2025年4月13日(日)～10月13日(月)
	テーマ	いのち輝く未来社会のデザイン
	開催場所	大阪 夢洲
	開園時間	9時～22時(予定)
	想定来場者数	約15万人/日(期間中 約2,820万人)
	会場敷地面積	約155ha
	想定警備員数	延べ人数34万人(1,850人/日を想定)

- その他、万博関連業務の受注に向け取り組み強化。
- パビリオン、会場工事、公共交通機関等に警備とビル管理のアプローチを継続実施中。



パビリオン

国内パビリオン・海外パビリオンの警備・清掃業務需要。



会場工事現場

万博開催まで会場工事現場の警備需要。



公共交通機関

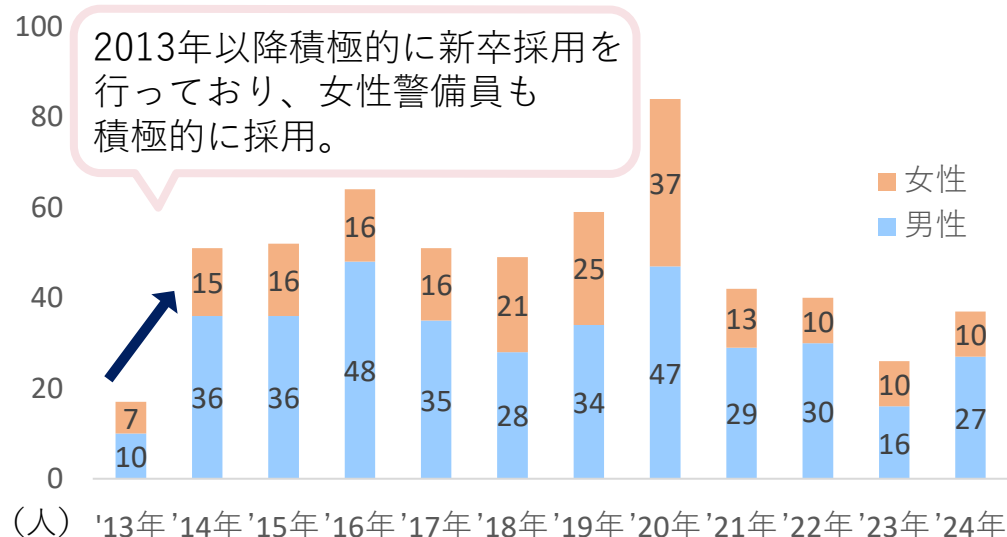
会期中は公共交通機関の利用者増加に伴う警備需要上昇。

2024年8月 海外パビリオン建設促進にかかる
入退場管理業務の受注決定。
< 受注金額 80百万円 >

採用活動の新たな取り組み

- リファラル採用制度の導入
⇒社員の親族や友人、知人に求人情報を届け応募を促す
- アルムナイ採用制度の導入
⇒退職者を再雇用する採用制度
- 人材紹介の活用
- ダイレクトリクルーティングの活用
⇒企業が直接求職者へアプローチをする採用手法
- アルバイトの活用
⇒万博に向けた採用（160人）

新卒採用人数の推移



離職防止

- メンター制度
- 若手交流会等による若年層離職防止

若手社員支援

- 奨学金返還支援制度の導入

2023年度入社フォローアップ研修



2024年度入社 宿泊研修



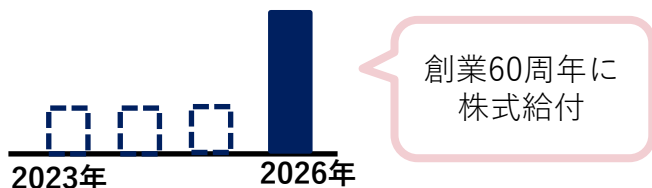
■ エンゲージメント向上施策

エンゲージメントサーベイ

従業員の帰属意識向上、離職防止の為、実施。

従業員向け株式給付制度

創業60周年に向け、全従業員に株式を給付。



東洋テックグループオリジナルコンサート



取引先である「ザ・シンフォニーホール」にて開催。総勢約1,000名が参加。

■ 人材育成

多種多様な研修

業務別研修 機械/貴重品運搬/施設/雑踏 等

階層別研修 管理職/中堅社員/若手社員 等

女性活躍研修

設備研修(ビル管理)

英語研修

警備訓練

営業研修 等

TECグループS1グランプリ (2024年6月22日開催)

各業務のスキルNo.1を決める実技大会。100名が参加。



常駐警備部門



機械警備部門

10/26 終値 1,136
10/27 終値 1,280
10/27ニュースリリース
「株主優待制度の新設に関するお知らせ」

1/9 終値 1,304
1/10 終値 1,440
1/9ニュースリリース
「2025年日本国際博覧会警備業務の受注決定についてのお知らせ」

1/31 終値 1,385

5/8 終値 1,200
5/9 終値 1,229
・5/9決算発表



人・街・未来をまもる
東洋テックグループ



記載内容に関するご注意

当資料は、あくまでも東洋テック株式会社をより良く理解していただくためのものです。

記載されている内容等は、当社が現時点で把握しているデータ等種々の前提に基づいて作成したものであり、記載された将来の計画数値、施策等の実現を確約したり、保証したりするものではありませんので、予めご了承下さい。

人・街・未来をまもる



東洋テック株式会社